

FUKU! SOBA

No. 1

福井県産ソバの『高単収』を目指して!!

いよいよソバの播種時期が近づいてきました。ソバは、生育初期の湿害に極めて弱い作物であるため、圃場の整備(排水が良い圃場)・排水対策を徹底することに努めましょう。7月下旬から8月上旬に播種するソバについては、排水対策を万全にして適期に播種作業を迎えられるように準備しましょう。

1. 圃場準備 (排水対策)

～まずは、万全の排水対策から～

麦あとの圃場整備

麦あとの排水溝を活用し、崩れや停滞水の場所を手直ししましょう。

排水が悪い所は改めて排水溝を掘りましょう。

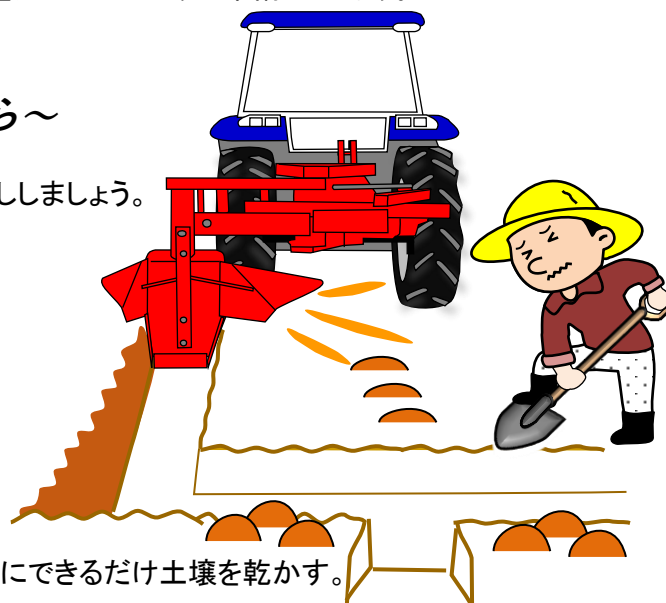
排水対策の徹底

- ☐ 額縁(圃場周囲)
- ☐ 明渠(中間溝)
- ☐ 弾丸暗渠(サブソイラー)

● 額縁排水溝の設置

トレンチャーなどで圃場周囲に排水溝(深さ25～30cm)をつくり、排水口へ接続する。

- 梅雨の間も圃場に水を溜めないようにし、播種までにできるだけ土壌を乾かす。



2. 雑草対策 (帰化アサガオ類)

播種までの雑草管理はフレールモア等での草刈りや除草剤(ザクサ液剤等)を散布しましょう。耕耘作業は播種直前に行いましょう。※帰化アサガオ類は、圃場内に侵入させない! 花を見たらすぐ防除!

(結実させない事が重要です)

マルバルコウ



マメアサガオ



ホシアサガオ



マルバアメリカアサガオ
アメリカアサガオ

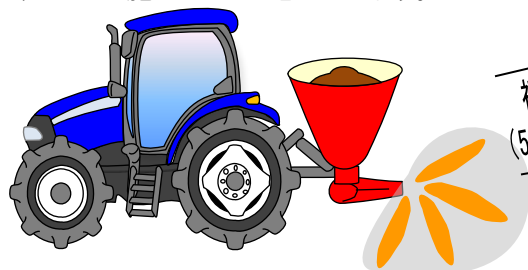


帰化アサガオ類写真4枚

出典: 福井県(畦畔の帰化アサガオ類対応マニュアル)より

3. 播種準備 (土壌改良資材の散布)

ソバの最適土壌pHは6～6.5です。低土壌pHは、養分の吸収だけでなく正常な根の伸長を妨げます。ソバは吸肥力が強く、他の作物に比べ痩せ地でもよく生育します。窒素過多で過繁茂、結実不良、倒伏等を招きやすいので施肥には注意しましょう。



福井県の水田のpHは低いところが多い(5～6.5)、土壌改良資材で酸度矯正を行う。

石灰資材

- マグエース 100kg/10a

- ケイカル 200kg/10a

(土壌pHを6程度に矯正する)

播種の1週間以上前に散布しましょう。